

備前市事務事業評価表

事務事業名	し尿処理施設維持管理事業(備前)	コード	01-01-15-01
		担当課・係	環境課 衛生係
		担当者	水谷 由紀乃
		電話	64-1821
事業実施期間	昭和46年度～		
総合計画 事業(政策)体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり	
	中項目(基本施策)	生活しやすいまちづくり	
	小項目(施策)	し尿処理(し尿処理施設の検討)	

事業について	
目的 (何のために)	し尿を効率的に処理することにより、生活環境の保全につなげる。
対象 (誰・何を対象に)	市内のし尿・浄化槽の汚泥処理が必要な市民・市内事業者
内容	許可業者によるし尿の収集運搬の指示。 適正かつ効率的にし尿の処理を行うために施設の維持管理を行う。

事業の結果			
実施項目	17年度 (単位)	18年度 (単位)	回数など (単位)
し尿処理量	6,656 k l	6,217 k l	
浄化槽汚泥処理量	7,173 k l	6,981 k l	

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	67,808	国庫補助金等		直接事業費	41,663	国庫補助金等	
	人件費	35,280	受益者負担		人件費	37,125	受益者負担	
	合計	103,088	一般財源等	103,088	合計	78,788	一般財源等	78,788

結果指標	結果指標名	し尿処理量	し尿処理量	
	結果指標値	6,656	6,217	
	単位	k l	k l	
結果指標	対前年比	-	93.40%	0.00%
	活動にかかるコスト	49,665,064 円	36,844,604 円	
	単位当たりコスト	7,461 円	5,926 円	
結果指標	結果指標名	浄化槽汚泥処理量	浄化槽汚泥処理量	
	結果指標値	7,173	6,981	
	単位	k l	k l	
結果指標	対前年比	-	97.32%	0.00%
	活動にかかるコスト	53,422,936 円	41,372,396 円	
	単位当たりコスト	7,447 円	5,926 円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	許可業者が収集したし尿及び浄化槽汚泥を適正かつ効率的に処理することで、生活環境の保全を行う。		
成果指標名	し尿及び浄化槽汚泥処理量	式又は説明	衛生センターに搬入されたし尿及び浄化槽汚泥量
	17年度	18年度	
成果指標値	13,826	13,198	
対前年比	-	95.46%	0.00%
到達目標値	9,000	到達目標年度	平成27年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等: 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第8条	妥当性評価<A~E> C 課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	法令に基づいてし尿及び浄化槽汚泥を適正かつ効率的に収集・処理するために、今後も事業の継続が必要であるが、下水道の普及によりし尿及び浄化槽汚泥の収集・処理量は年々減少しているため、今後、事業規模の縮小や「下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業者の合理化に関する特別措置法」に基づきし尿処理業者の代替業務について検討する必要がある。
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> B 課題認識
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	施設の運営にあたっては常にコストの削減に努めており、水道・燃料使用量等は減少傾向にあるが、修繕料等については設備の老朽化が進んでいるため削減は困難である。また平成18年度では事業費の半分以上が人件費が占めており、配置人員数等について今後見直しが必要である。
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> C 課題認識	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	下水道の普及等によりし尿・浄化槽汚泥の収集・処理量は、前年度と比較して5%程度減少しており、今後も減少する見込みである。
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度状況		説明 下水道の普及に伴い処理量は減少してきており、光熱水費をはじめとする維持管理コストの見直しを図っている。また老朽化に伴う施設整備については、現在、下水道除外施設としての整備が可能であるか、下水道課とも協議中であり、本年中に施設整備の方向性が決定する予定である。
<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
目標値 結果指標値 5,900 結果指標値 12,500	結果指標値 6,600	

総合評価	許可業者によるし尿の収集については、下水道整備により収集量が減少しており、法律に基づきし尿収集業者の代替業務を考えると必要がある。処理施設については施設の老朽化が長年課題となっており、また下水道や浄化槽の普及により、処理対象物の量や性状が年々変化していることから施設の処理方式や設備能力について見直す必要があるため、今後、大規模な施設整備を行う必要がある。	評価区分 <A~E> C
------	--	--------------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
--------------	---	---

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果